



(右) 廊下に設けたニッチには、季節感のあるオブジェを飾り、ゆとりを表現したい。(中) 壁に施したアール・ド・ヌーヴ風の飾りもハンドメイドの特注品。(左) 寝室は、他の部屋と異なる洋風テイスト、ブラックウォールペイントの床材やオリーブホワイトのスペイン産の西洋漆喰を採用

分を残しながら、今までになかった新しい魅力を膨らませ、帰ってきたときにホッと癒される住まいへと再生してくれるに違いない。古民家を知り尽くす建築士と、心づくせるセンスとアイデアを持つインテリアコーディネーターとして施工の要となる、熟練の木工。頼もしいパートナーが、しっかりとこに在る。まずは古民家スタイルの魅力を体感しに訪れてみて。

築140年のモデル住宅
スタジオ「風のくら」
福岡県筑紫野市大字山口2122



株式会社ハウスランド社
(Houseland)
福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL 092-922-8771 (和の家「吉木」)
<http://www.h-land.jp/>

ハウスランド 福岡 検索



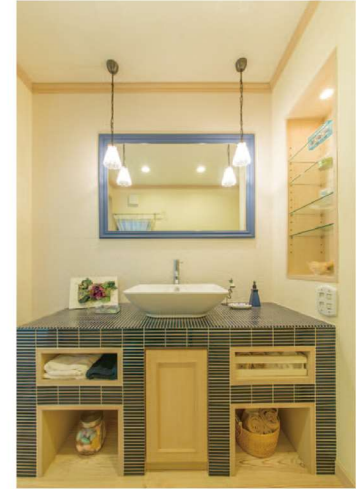
ハウスランド社が作りでは、換気の90%がキャップボードの造作を依頼するとか！
食器がすっぽり入り、取り出しやすい大容量のスライド式収納棚だ。

和室の前の格子戸。職人の丁寧な仕事が見え、無垢材の温かみと安らぎまで伝わってくる

この先も長く、快適に古民家で過ごすために。
受け継いだ家を壊したくない、なんとか残したいという声が多いため、それを巧みに再生できるリノベーション会社は意外と少ない。新建材や工業製品を使わずにリフォームする会社もあるけれど、残念ながらレトロな空間にはミスマッチとなる場合も多々。やっぱり古民家には、土や石、無垢材など自然のものがよく似合う。そうした方が空間の雰囲気がぐんと増し、建物の価値も上がるはずだ。
ハウスランド社は、古民家のネットワークポイントと言われる。寒い・暗い・じめじめの3要素を払拭するために、最先端テクノロジーを取り入れている。結露を防ぐためにペアガラスを使ったり、夏は涼しく、冬は暖かく過ごせるように断熱材を敷いたりなど、古



海外にいる気分になれるワンシーン。選気対策として、床下に防湿のコンクリートを打ち、壁には吸湿性に優れたスペイン産の西洋漆喰をセレクト



北欧風にも感じられる、ブルーのタイル貼りの洗面化粧台。白木のクリーンな佇まいが印象的



100年の時空を感じる、
奥ゆかしい美空間。

リビングの板の間は、小皿の形を使った浮きくり仕上げ。引戸にはフランスの色ガラスを取り入れている



隣に蔵があり、1階はショールーム、屋根裏の2階がオーディオルームになっている。男性好みの隠れ家的スポットで、「こういう部屋が欲しい」と部屋の声が高々。ダイナミックな松の梁をそのまま残した、カッコいい空間だ